

かがやけ

むつみっ子

～学校日より「かがやけ むつみっ子は

むつみ小の子どもたち、教職員の輝く姿をお届けします～

むつみ小学校日より

令和2年5月13日

久しぶりの笑顔！元気がうれしい！

山の木々が、新しい芽を吹き、美しい黄緑色に輝いています。4月18日から再び臨時休業となりました。むつみ小学校の子どもたちは、保護者の皆様、地域の皆様に温かく見守っていただいているおかげで、この期間を元気に過ごすことができています。本当に、ありがとうございます。

さて、延長した臨時休業では、本日、5月13日（水）に、登校日を設けました。久しぶりに子どもたちの笑顔を見ることができました。この日は、家庭学習を行うための説明やプリントの配付、朝顔の種まきなど、学校でしかできないことをしました。何より、『元気』な子どもたちの様子を見届けることができたのは、大変うれしいことでした。

そして、18日から待ちに待った学校再開です。国全体を見ても、少しずつ感染者が減ってきているとはいえ、油断はできません。いつ、どこで、感染するか分からない状況の中、これからもできる限りの対策をとって、学校生活を実施させていただきたいと思います。ご家庭でも感染症対策を続けていただき、充実した日々を取り戻すことができれば幸いです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

『くつそろえ』の取組を始めました！

くつと一緒に心もそろえる！

4月16日の中休みの後、むつみ小学校25人の子どもたち全員のくつが、下足箱の中で、きれいにそろって（かかとを下足箱の手前にそろえます）いました。裏面に「はきものをそろえる」という詩を載せています。この詩は、長野県にある円福寺の住職、藤本幸邦さんが50年も前につくられたものだそうです。この詩に出会って、私も意識して、はきものをそろえるようになりました。

この詩の中にある「心もそろえ」とは、どういうことなのでしょう。私は、3つのこと（心）を意識しています。一つは、「気持ちを落ち着け、切り替えること」です。例えば、はきものを脱いで、下足箱に入れたとき、かかとをそろえ

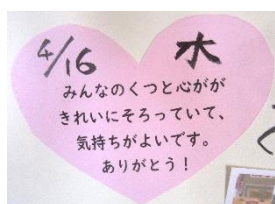
て入れる一瞬に「今日も一日、頑張ろう」「遊びは終わり、さあ、勉強だ」などと自分の心を切り替えることができると思うのです。二つ目は、「だれかを大切に思うこと」です。トイレのスリッパをそろえることを想像してください。次の人（だれか）のために、そっとスリッパをそろえることに心を遣えることで、自分も次の人も心が温かくなります。三つ目は、みんなのくつがそろっていることで、「みんなが、ここ（むつみ小）を心地よい場にしようとしていること」を感じます。学びやすい場、温かい場、頑張る場、自分を受け入れられる場、人を受け入れようとする場など、みんなのくつと心がそろうことで、ここに素敵な居場所があるということを感じ合うことができると思うのです。

いつもうまくいくとは限りません。「くつそろえ」を続けることで、ほんの少しずつの心を持ち寄って、できたことを一緒に喜ぶことができるような場面を、たくさん積み重ねたいと思います。ご家庭でも、お子さんがくつをそろえておられたら、「気持ちがいいね。」など、励ましの一語をかけていただくとうれしいです。



4月16日の全員のくつが初めてそろったときの写真です。

みんなのくつがそろうと、うれしい気持ちをハートにこめて玄関に掲示します！



はきものをそろえる
はきものをそろえ
心もそろ
心がそろ
はきものもそろ
ぬぐときにそろえておく
心がみだれない
だれかがみだしておいたら
だま
そろえておいてあげよう
そうすればき
世界の人の心が
そろうでしょう
円福寺 藤本幸邦

5月13日(水) 久しぶりに登校した子どもたちの様子です！

鈴の音が響きます！



どのクラスも、教室をいっぱい使って、座席を配置しました。本の借り換え、外での活動、「なんでもバスケット」ゲームで休みの様子を聞き合う、家庭での運動メニューの紹介、野菜の苗植えなどをしました。

※ 本日、PTA総会の資料を配付いたしました。紙上議決となりますので、ご協力をお願いいたします。